キャラクター名
偽装本名:安達伊予(ｱﾀﾞﾁｲﾖ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス エンジェルハィロゥ	ワークス	情報屋	カヴァー	UGNｲﾘｰｶﾞﾙ
オプショナル		年齢	29	性別	女性
覚醒	無知	衝動	憎悪	初期侵食率	33 %
出自	貧乏	経験	死と再生	邂逅	三条官作

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	5	0	2			7
精神	1	0	0			1
社会	1	1	0			2

HP	23
行動値	18
(非装備時)	18
戦闘移動	23
全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：	5	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ﾊﾙｰｼｮﾝ(100↑)	射撃	7r+24		20+1D		ﾊﾟｰﾌｪｸﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ有

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ｴﾝﾌﾞﾚﾑ:ﾃﾞﾘﾊﾞﾘｰ	
ｻｲﾄﾞﾘｰﾙ	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
錬金術師	P	N		
三条官作	P	N		
更科偲佑	P	N		
三条慧子	P 庇護、友情、母性	N 殺意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ﾊﾝﾄﾞﾚｯﾄﾞｶﾞﾝｽﾞ	1	5	ﾏｲﾅｰ	至近至近	自身	自動	-	
効果： 攻+[Lv+4]								
ｽﾅｲﾊﾟｰｳｪﾎﾟﾝ	2	2	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果： 達成値+[Lvx2], 射程を視界に, 同ｴﾝｹﾞ不可								
ﾏﾙﾁｱｸｼｮﾝ	1	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果： ｴﾌｪｸﾄ以外の行動を一つ行える								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ:ﾓﾙﾌｪｳｽ	3	2	ﾒｼﾞｬ	-	-	自動	-	
効果： C値-Lv(下限値7)								
ｸﾘｽﾀﾗｲｽﾞ	2	4	ﾒｼﾞｬ	-	-	射撃	100	
効果： 攻+[Lvx3], 装甲無視								
ﾊﾟｰﾌｪｸﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ	1	4	ｵｰﾄ	至近	自身	知覚	80	
効果： 達成値+10, HP-5								
◇ｻｲﾄﾞﾘｰﾙ取得分	1							
効果：								
文書偽装	1	-	ﾒｼﾞｬ	至近	自身	自動	-	
効果： 書類や公文書などを忠実に偽造できる								
ｳｫｰｷﾝｸﾞｸﾛｰｾﾞｯﾄ	1	-	ﾒｼﾞｬ	至近	単体	自動	-	
効果： 自由自在に服装を変更, 同意した対象にも								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

三条慧子の旧友になりすまし、UGNイリーガルとして活動する女性。
その名前も容貌も、実は何一つ彼女のものではない。

銃を造る射撃型アタッカー。新東京市の峰不二子。通称“NAFS”。愛称はレス。

【覚醒と邂逅】
酷く貧しい女のもとに生まれた。必要最低限の衣食住さえ賄われなかった《彼女》は、事故で命を落としたとある少女の身分証明の類を盗む。背乗りの標的になった少女の名は、安達伊予。安達伊予の戸籍を得た《彼女》は、実は一命を取り留めたその少女として生きていくことを選んだ。
この時には既に覚醒し（覚醒:無知）、あらゆるものを巧みに偽装する能力と共にあった。最悪の境遇にいた彼女にこの力が無ければ、母親と共に野垂れ死んでいただろう。
そして、《彼女》の元の名前が記録されたものはもうどこにもない。

亡くなった安達伊予という少女が、当時の三条慧子の友人であったことを後に知る。

18年前（2003年）整形外科医の三条官作（ジャーム）に拉致される。官作はレネゲイドを用いて、来院する女性の顔と精神を亡くなった妻そっくりに整形するという所業を繰り返していた。幾度の失敗で見境が無くなり始めた彼は頻繁に女性を拉致し、そのうちの1人だった伊予にも手は及んだ。既にオーヴァードに覚醒していた伊予に精神面への影響はなく、その顔のみが完璧に模倣された。当時11歳の彼女には大人びすぎた顔だった。
更科偲佑の妻・暁にも同様の整形が行われる。一時的に顔を変えることはできたが時間の経過と共に崩れ、その精神も“暁“と“官作の妻“とが混じり合った半端なものに変わり果てた。レネゲイド耐性の無い一般人の暁は心身が崩壊。
｜
17年前（2004年）更科偲佑の妻・暁がオーヴァードに覚醒、その後自決。